



四小だより



連雀学園三鷹市立第四小学校



ホームページ 四小 <http://www.mitaka-schools.jp/yonsyo-es/index.html>
 夢支援ネットワーク <http://muiku.info>
 四小メールアドレス 04-no4sm-schoolnet.jp
 四小教育相談室（直通） 0422-48-9102

11月号



身に付けた力を発揮するために

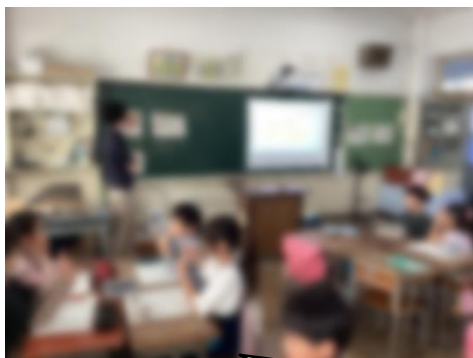
校長 佐藤 勇人



◆5年理科「流れる水のはたらき」
 タブレットで撮影することによって、実験の様子を再現したり共有したりすることが容易にできるようになりました。

過日は、本校の第80回運動会に多数ご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちの運動会をよりよくしたいという意見を取り入れ、それを形にした運動会でした。保護者の皆様には、衣装等のご用意や当日の参観につきましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、先日ある学級の理科の授業を参観しました。教師は、4問のクイズを出しました。どちらが重いかを当てるクイズです。1問目は大きさの違う同じメーカーの液体のりAとB。子どもたちは大きい方が重いだろうと答えました。2問目は、大きさはほぼ同じですが、プラスチックとガラスでできた材質の異なる水槽AとB。子どもたちは、ガラスの方が重いと答えました。3問目は同じような金属製の材質で形の異なる食器AとB。少し意見が割れました。様々な意見が出てきて、教室がざわつきます。手に取って比べてみても、どちらが重いかわかりません。そして、4問目は、2つ折にした模造紙と筒状に丸めた模造紙AとB。子どもたちは、いよいよざわつき始めました。「先生、量らせてよ!」という声も出ました。そこで、教師は、「なんだかもやもやしちゃったね。次の時間に確かめたいことは、何かな?」と問いかけました。子どもたちは、次の時間から、「物の重さは、大きさや種類（素材）、形によって変わるのか」を調べようと話し合いました。



◆3年理科「物の重さをくらべよう」
 自分の意見を付せん紙を貼る感覚で動かすと、同じ画面をみんなが確認することができるので、意見の共有が簡単です。

事象との出合いを工夫して、子どもたちがもった問いを解決すべき課題としてもたせることができれば、子どもたちはその解決に向けて、自ら向かっていきます。一人1台の学習用端末が手元にある今、子どもたちが、多様な知識を得ることは、非常に容易なこととなりました。もちろん、知識を身に付けることは大切なことですが、このように、自ら取り組んで知識を得る過程や記録を検討したり意見を共有したりして実感をもって理解することが、子どもたちの生きて働く力となるのです。

運動会では、子どもたちの普段培ってきた力を生かして、子どもたち主体の行事とすることができました。今月下旬には、学習発表会を実施します。奇数学年は、音楽の時間の学習内容を発表し、偶数学年は、各教科で学んだ内容を生かしての発表です。当日は、子どもたちが日頃の学習で身に付けた力を発揮して生き生きと発表できるよう、指導しております。どうぞよろしくお願いいたします。

11月24日（金）、25日（土）に学習発表を行います。学年ごとに学習している内容を、それぞれの方法で発表します。1・3・5年生は音楽発表、2・4・6年生は学習の発表を行います。表現の仕方を工夫しながら、一人ひとりの個性を発揮し、思いや意図を伝える力を養い、発表までの計画を立てたり、準備や練習をしたりすることで、見通しをもって活動する力や、責任をもって行動する力を養うことをねらいとしています。

保護者鑑賞日は25日（土）です。学年ごとの入れ替え制となっています。今年度は各家庭に人数の制限は設けません。運動会と同様に臨時入校証を発行いたします。詳細はまた後日ご連絡いたします。

皆様の温かい応援をよろしくお願いいたします。

学習発表会担当

運動会を終えて～子どもたちの振り返り～

1年

がんばったことは、50メートルそうで、さいごまではしれたことです。ダンスがじょうずにおどれてうれしかったです。おかあさんとおとうさんにダンスをほめられてうれしかったです。

(1年生は、『元気よく笑顔で踊ること、最後まで全力で走ること』をめあてに初めての運動会を頑張りました。)

2年

がんばったところは、ダンスでニコニコおどるところと、ワイドステップです、はじめは絶対できないと思ったけどできました。50m走は、負けたけど、自分の中では1位です。がんばって走ったからです。これからは運動会をもっと楽しくして、見ている人も笑顔になってくれるよう頑張ります。

3年

「ダイナミック!!」では、回る向きや太鼓を鳴らすタイミングなどを覚えるのが難しかったです。本番では、3年生全員が心一つにすることができ、大成功に終わりました。踊った後に、拍手をしてもらえたことが嬉しかったです。運動会で学んだことを忘れず、これからも絆を深め、一致団結して頑張りたいです。

4年

中嶋先生や運動会実行委員にアドバイスをもらいながらおどりをがんばりました。クラスでフリを考えたときは、みんなで意見を出し合って考えることができたと思います。ただおどるのではなく、ちゃんと3つのWAに思いをこめておどりました。4年生全員で協力して最高の祭りを作ることができたと思います。

5年

五年生みんなで作り上げたソーラン節!!実行委員さんや中休み練習隊、その他のみんな、そして先生でつくったソーラン節です!!最後の最後まで課題を直そうとして、時間短縮のために協力して、成功したんだなと思います。この協力を、ふだんの生活にも生かしたいです。

6年

私は補助倒立が苦手で、練習の中でみんなに置いてかれるような感じになったときがありました。しかし、そんな自分を変えていこうと何度も練習し、本番では成功させることができて嬉しかったです。最後の大技「カシオペア」も全員で力を合わせて成功できたことも嬉しかったです。委員会による運動会の準備などもあり、今までで一番達成感がありました。

算数専科より

～算数習熟度別指導について～

本校では、本年度も児童一人ひとりの細やかな学習指導を行うため、算数の少人数指導を実施しています。

実施する学年は、3年生から6年生までの4つの学年になります。毎週5時間実施し、基本的には算数のすべての学習内容を習熟度別で指導しています。

児童の理解や習熟の様子・学習スタイル等に応じて効果的な学習集団を編成しています。学習に遅れやつまずきがある場合は、必要に応じて補足的な指導を行っています。習熟が早く、更に学習を進めていきたい場合には発展的な指導を行っています。学習集団の特性に応じて、教材・教具等を活用し、効果的な指導を工夫しています。

新しい単元に入る前にこれから学習する内容についてのレディネステスト(準備テスト)を行い、児童の希望も加味しながら習熟度を踏まえ、実態に応じて分け方も工夫しています。

それぞれのコースの指導担当は、ある一定期間固定させたり、また学年担任と算数担当がローテーションする形をとっています。どの単元でも、児童が安心してしっかりと学習に取り組めるようにしています。

また今後は夢育スタッフの方々の協力をいただきながら、個別サポートの充実を図ってまいります。

算数担当

10月の四小

10月22日三鷹の森フェスティバルで5・6年生有志児童が「四小だがい屋さん」を開きました。



読書旬間の取り組み 5・6年生による1・2年生への読み聞かせ



読書旬間の取り組み おはなしの会による読み聞かせ 演習もすてきでした。



歯みがき指導 校医さんとりんごの会の皆さんから楽しく学びました。

